

事業番号	事務事業名	栄養委員活動費	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
02115	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町栄養委員会規則	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	現栄養委員は2年目(任期3年)。栄養委員の活動としては、町主催の栄養教室や県主催の研修会への参加、公民館事業の協力、地区活動への参加等があり、地区住民に対して食を通じた健康づくり活動を行う。<業務内容・手順など>栄養委員が地区で健康づくりの普及啓発を行えるよう、栄養委員の組織育成(栄養教室の企画・運営)を行い、学んだことを地区へ伝達する地区活動を行えるよう援助を行う。 令和3年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行により、活動が難しい年になったが、栄養教室は感染症対策を行い実施し、地区活動では、人を集めて行う地区活動は難しいため、訪問活動・地区回覧板を用いた活動により、地区への伝達活動を行った。	昭和33年山陽町に栄養改善組織が誕生。以降各市町村へ広がった。「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに町民一人ひとりが充実した豊かな人生を過ごせるよう食生活改善活動や健康づくりのための運動活動を行う健康づくりボランティア。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	町民	→	ア	人	見込	12,285	12,143	11,970	11,800	11,627
					実績	12,756	12,625	12,497		
イ	栄養委員	→	イ	人	見込	130	128	128	128	128
					実績	130	128	128		
ウ		→	ウ		見込					
					実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	生活習慣病を予防し、健康づくりを推進する	→	ア	%	目標	70	70	80	80	80
					実績	74	77	81		
					達成率	105.7%	110.0%	101.3%		101.3%
イ	栄養や食生活習慣についての知識や関心を深めてもらい、食生活を改善する	→	イ	人	目標	9,680	9,680	3,000	4,000	4,000
					実績	6,176	2,186	3,275		
					達成率	63.8%	22.6%	109.2%		81.9%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	栄養委員の組織育成	→	ア	人	目標	211	211	350	350	350
					実績	323	346	104		
					達成率	153.1%	164.0%	29.7%		29.7%
イ	地区での栄養改善普及事業	→	イ	回	目標	3	3	3	3	3
					実績	3	2	1		
					達成率	100.0%	66.7%	33.3%		33.3%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款 04		01 項 01		01 目 01		03 01 事業名					02115
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		栄養委員活動費					
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	940	796	713	852	850	-83	一般財源	613	687	326	850	850	-361	
合計	940	796	713	852	850	-83	合計(A)	613	687	326	850	850	-361	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	960	960	960	960	960		
							人件費計(千円)(B)	3,360	3,209	3,216	3,284	3,284	7	
	最終予算額		713 千円		予算執行率	45.7%		トータルコスト(A+B)	3,973	3,896	3,542	4,134	4,134	-354
主な支出事業内容(予算)	報償費 報償金				140 千円			主な支出事業内容(決算)	報償費 報償金				40 千円	
	需用費 消耗品費・食糧費・印刷製本費				333 千円				需用費 消耗品費・食糧費・印刷製本費				77 千円	
	役務費 通信運搬費・保険料				174 千円				役務費 通信運搬費・保険料				86 千円	
	使用料及び賃借料				100 千円				使用料及び賃借料				128 千円	
	負担金				70 千円				負担金				70 千円	

事業番号	02115	事務事業名	栄養委員活動費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルス感染症の流行により、外出等を控えられる高齢者が増加。栄養委員活動も集会より訪問・対話活動が多く実施された。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
栄養教室は、教室の人数制限・教室回数の増加等、感染症対策を行い、開催。各地区活動では健康づくりに関するチラシや媒体の配布を通して健康づくりの普及啓発を行った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
コロナ流行以前の活動が中々実施できない。仕事の都合上、活動が難しい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 町民の方が、いつまでも健康な日々を過ごすためには一人一人の健康問題を地域のみんで解決しようとする活動が必要である。本人だけでなく、家族、友人、ご近所さんへと働きかけ、仲間とふれあを通じて地域ぐるみのより良い食習慣づくりと繋げ、健康な状態で暮らしてもらおうという施策に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 行政機関の行う事業・行事の参画、住民や他団体との協働の2本柱で住民の健康づくりに取り組んでおり、妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 全町民を対象としており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 コロナ禍地区活動が実施しやすいよう、活動の補助等の体制を整え、委員へ周知する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 健康づくりは地域づくりを進めていくことが不可欠である。栄養委員活動は、行政が行えない地域の細部で活動を行っており、より身近な食を通じた健康づくりの担い手として、健康づくりの推進を行っているため。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 活動内容の確認を行い、改善点があれば改善を図る。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 栄養教室の講師の選定、必要物品等成果向上のためには、削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 栄養委員活動は栄養士だけでなく、地区担当保健師、愛育委員、地区住民等と協力し、活動を行うことが多い。栄養委員と共に地区の現状に沿ったより良い活動を進めていくため民間委託等による削減は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 地域から栄養委員を選出し、全町民を対象に行っており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	栄養委員の活動は、行政だけでは行えない地域の細部での活動を補うことができる。栄養委員と地域の結びつきをより密にし、正しい食生活の取り組みを行うことにより、健康に対する知識を高め、鏡野町の健康水準の向上につなげることができる。一方で地区住民からは栄養委員の担い手不足、仕事や子育てをしながら委員活動は難しいといった声もある。新型コロナウイルス感染症の影響により、地区活動も制限される中、会のあり方や町民の健康づくりの推進活動を検討していく必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 栄養教室や研修会の実施により栄養委員の資質の向上に努める。新型コロナウイルス感染症対策下でできる活動の提案等、地区活動を支援し、住民一人一人の健康に対する意識の向上を図る。幹事会等を通じて委員活動や委員選出について意見を聞き、改善案を検討する。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
新型コロナウイルス感染症の流行や委員の担い手不足等、情勢に応じた変化が求められる中で委員が継続して活動できるよう、活動内容や体制等、委員や委員選出に関する地区の声(区長等)を考慮し検討していく必要がある。																									